

富士フィルムRC教育カリキュラム

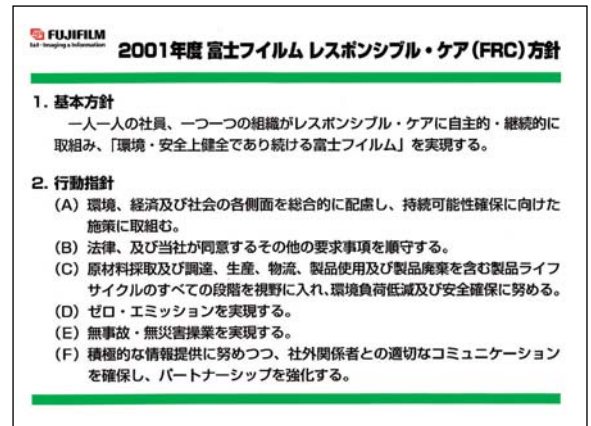
当社では、富士フィルムRC教育カリキュラム編成委員会が全社レベルの環境教育を計画し、推進しています。編成委員会は富士フィルムRC委員会の常設下部組織で、環境をとりまく社会の動向に的確に対応するため、全社レベルで共通に教育すべき事柄を、年度ごとに教育カリキュラムとして立案します。このカリキュラムは、新入社員を対象とする導入コースから、管理者コース、専門家コース、一般コースに分けられています。その内容は、例えば導入コースでは当社RCの歴史、現在及び今後の課題と対応体制、管理者コースではRCに関連する全般的な社内外の動向、法律等の制定・改訂など、専門家コースでは化学物質管理に関する当社の規則及びデータベースの使い方、関連する法規制などであり、全社を挙げて環境問題に対する意識を向上させるカリキュラムとなっています。これらの教育カリキュラムを毎年度実施、その成果が委員会へ報告され、その審議結果が次年度のカリキュラムに反映されます。

富士フィルムRC方針のポスター作成

当社では社員への富士フィルムRC方針の周知・徹底のためにポスターを作成し、すべての部署に掲示しています。2001年度はFRC方針の適用範囲の拡大にともない、子会社へも配布しました。

工場における環境教育

工場ではより多くの環境問題に直面することから、環境保全に対する意識向上を図る独自の環境教育を実施しています。足柄工場では「環境ハンドブック」を作成し、「環境向上週間」を設けて教育の徹底を図るとともに、広報誌「EAあしがら」を年4回発行、環境意識向上に努めています。富士宮工場でも、「環境ガイドブック」及び環境広報誌「グリーン富士宮」を定期的に発行し、これらをもとに教育を実施しています。また、毎年6月を「環境月間」として、重点項目を設定、活動することによって社員全体の意識を高めています。



富士フィルムRC方針のポスター